



公開収録

母乳外来で心をほぐす助産力

乳房ケアからはじまるファミリーケア

(CLOCMiP レベルIII 認証申請のための必須研修
「ウィメンズヘルスケア提供のための基盤能力」承認セミナー)

昨年、好評いただいた医学書院 Web セミナーを、今年是对面で開催します。

地域の開業助産師として多くの母乳育児相談に関わっている直井亜紀さんを講師に迎え、さまざまな乳房トラブルの事例画像を提示しながらケアの実際をお伝えします。また、母親本人だけではなく家族全体をサポートするためのトークの工夫や情報の引き出し方などのコミュニケーションの応用、パートナーシップや兄弟の関わり方などのファミリーケアについて、グループワークも交えながら学びます。

直井さんの、母乳外来でのコミュニケーションのコツやケアの実際を対面で学びませんか？



講師の直井亜紀さん

われてうれしい言葉」「自信がつく表現」などの工夫

- ・夫婦間の意見の相違があるときに、よりよいパートナーシップに向けたアプローチの実際
- ・第2子以降育児で、兄弟が寂しく感じない授乳やだっこなど、赤ちゃん返りに効果的なアプローチ、ほか

申し込み方法

医学書院 web サイトより

<https://www.igaku-shoin.co.jp/seminar/detail/230910sem>



問い合わせ先

josan@igaku-shoin.co.jp

※本セミナーは、アドバンス助産師の申請に必要な必須研修「ウィメンズヘルスケア提供のための基盤能力」の承認セミナーです。また、『助産雑誌』の公開収録とし、後日記事を収載予定です。

講師 直井亜紀 先生

(さら助産院 院長／埼玉県八潮市)

日時 9月10日(日)13:30~17:00

会場 医学書院 本社2階会議室

(東京都文京区本郷1-28-23)

受講料 1名につき9,350円(税込)

対象 助産師

定員 40名

プログラム

【講義】

- ・助産師の「ウィメンズヘルスケア能力と助産師の役割」の確認
- ・母親の心をほぐすために行っている、初診来院者への接遇や情報収集の工夫
- ・産後ケア活動の実際
- ・直接授乳が難しい乳房(陥没や扁平)の、心をほぐす具体的なアプローチの工夫、ほか

【グループワーク】

- ・育児や授乳の自信をなくしている母親へ「言